

クエスト・ユーザーグループニュース Vol.63

2024年1月号

このたびの令和6年能登半島地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
現在製品発送において、一部地域での配送の停止や遅延が生じております。お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解を承りますようお願い申し上げます。
今号のサプリメントアドバイザーエッセイは、花粉症と薬について書いていますので、ぜひ最後までお読みいただけたら幸いです。

<< 1月限定☆ネオセルプラスキャンペーン >>

お待たせしました!

長らく欠品して多くのお客様から「まだなのー?」とお問い合わせをいただいていたネオセルプラスがようやく入荷いたしました。

お待ちいただいたお詫びも兼ねて今月はネオセルプラスキャンペーンを実施します。
4本購入で1本おまけがついてくる、あのキャンペーンです!

特に最近では数日、あるいは一日の中でも気温差が激しく、それだけでも心身にストレスがかかります。「このところ元気が出ない」「気分が落ち込みがち」など感じていたら基本のネオパックやネオガードプラスに加えてネオセルプラスを摂ってみるのも良いですよ。かなりお得なキャンペーンです。ご家庭のストックとしてもこの機会にどうぞ。



New Year New Brain!
「ネオセルプラス」
1月限定特別キャンペーン
4個セットでもう1個プレゼント

2024

ネオセルプラス4 + 1 プロモーション
商品番号: 4055 価格: 245ドル

※再入荷した最新ロットのネオセルプラスの色が、以前のものに比べて明るい黄色になっています。天然の原料を使用しているため、製造時期により色味など異なる場合がありますが品質は問題ありませんので安心してお使いください。

<飲み方の目安>

17歳以上: 1日4~5カプセル 12歳~17歳以下: 1日3カプセル 6歳~12歳以下: 1日2カプセル
6歳以下: 1日1カプセル 1日分を2回に分けて、朝夕で食べ物と一緒に摂取していただくとより効果的です

★クエスト社の製品は、アメリカ農務省のオーガニック認定を受けており、放射線照射や遺伝子組み換えの原材料を使用しておりません。また、人工甘味料、着色料、保存料は含まれておらず、全て自然の原料からできています

ネオセルプラスQ&A

Q1)どんな人におすすめですか？

A1)お子様からシニアまでの幅広い世代におすすめです。

ネオセルプラスには脳に重要な栄養素が含まれていて、脳を健康にし、脳の機能を高めてくれます。ストレス、疲労、うつや不安、気分の落ち込み、慢性痛、睡眠障害、記憶力低下、ADHD(注意欠陥・多動性障害)などの問題の改善が期待できます。開発したギブソン医師によると、ネオセルプラスを長期間摂取することで、アルツハイマー、パーキンソン、多発性硬化症（MS）などが予防できるそうです。

Q2)ネオセルプラスは子どもにも良いですか？

A2)子どもにも脳に良い栄養は必要です。集中力がつきますので勉強やスポーツにも良いです。受験生にも大変おすすめです。

Q3) 摂取上の注意事項はありますか？

A3)薬を服用中の方は医師に確認してください。

Q4)ネオセルプラスにセイヨウトギリソウが入ってますが、相性が悪い薬があると聞いたことがあります。

A4)ギブソン医師によると、問題となる成分をとり除いているため、薬の併用は問題ないとのこと。

Q5)うつで悩んでいます。効果的な飲み方があれば教えてください。

A5)軽度から中度のうつ、不安感、ブレインフォグ、認知症、ADD(注意欠陥障害)、パーキンソン病、多発性硬化症（MS）、リウマチ、その他神経障害をお持ちの方は、1日に6カプセルに。中度から重度の上記健康問題のある方は1日8カプセルの増量をおすすめします（好転反応が気になる時は、様子をみながら少しずつ増量してください）。脳の回復には、これらの増量した摂取量を90日間は続けることが重要だとギブソン医師は勧めています。また、脳の栄養だけでなく体への栄養を補うことも大変重要です。ネオパックなどと一緒に摂取することで、より回復の助けとなります。

Q6)飲んで1週間程して体がだるくなりました。ネオセルプラスでも好転反応があるのですか？

A6)他の栄養補強、腸の健康セットやネオクレンズの解毒プログラムと同様に好転反応がでることがあります。好転反応の過程や状態は人によって様々で、飲み始めてすぐに起こる人もいますし1年後に起こる人もいます。その方の弱い部分にでることが比較的多いですが、一般的な好転反応として、だるい、眠い、風邪症状、痛みが移動する、検査数値の悪化、湿疹、かゆみ、イライラ、便秘、下痢、頭痛、発熱、吐き気などがあります。反応が辛い時は、無理をせずに量を減らしたり、場合によっては一旦お休みをして様子を見ながら再開していただくと良いでしょう。お困りの時はユーザーグループへ相談してください。

Q7)ネオセルプラスを飲み始めて1ヶ月経ちますが、ほとんど変化がありません。

A7)飲み始めてすぐに効果を感じる方も多いですが、変化を感じるまでに多少時間がかかる方もいるなど様々です。特に長年栄養補強をして元気な方は2、3ヶ月程してから、ストレスの軽減や記憶力のアップなどちょっとした変化から気づくことも多いようです。

細胞レベルで変化を期待するためには少なくとも90日かかるため、最低でも3ヶ月間の継続をギブソン医師は勧めています。

Q8)脳のためにネオセルプラスはずっと摂り続けないといけないのでしょうか？

A8)ネオセルプラスに限らず、その他の栄養補強も同じですが、現代の食べ物には栄養が減っていて、またその方の胃腸状態で吸収力も変わってきますので、できるだけ継続することが健康維持のためにも必要です。

<サプリメントアドバイザーエッセイ>**～ 花粉症と薬 ～**

年が改まりましたが、新年早々日本国内だけでも様々なことが起こり心を痛めている方も多いことと思います。被災者の方々にお見舞いを申し上げます。

悲惨な状況を見聞きするだけでもストレスとなり、改めて心身の健康を保つこと、保とうと努めることが本当に大事だと感じます。悲惨な状況を見聞きしても心の平穏を保つためには、日頃から自分の心のケアも大切ですし、災害で薬などが手に入らない状況が生まれていることを見ても薬の要らない健康体でいることが大切ではないでしょうか。

それが地震国日本に住む以上必要なことだと思います。また、心の健康には体の栄養が深く関係していることも改めてお伝えしたいことです。

話は変わりますが、春というと私どもが仕事上思い浮かぶのは、日本の国民病と言われる花粉症です。

最近では1年中の方もいますが、春先になるとあらかじめ薬を飲み始めるというお話をよく聞きます。多くの方がお薬を飲んでいるので、見るからに辛そうな方はずいぶん減っているように感じますが、花粉症の割合は年々増えているのではないのでしょうか。

周りもみんな花粉症なので、あまり問題だと思わず、他の症状で悩んでご相談があっても「花粉症はありますけど、そっちはいいんです。薬飲むから」というようなお話をされる方もいます。

しかし、その今悩んでいる症状の遠因、もしかしたら原因が花粉症の症状を薬で抑えていること、抑えてきたことに関係するという可能性もあるのです。

薬を飲み続ける。化学物質を体に入れ続けるということが体に与える影響というものを、ここでこのエッセイを読んでいる方には考えていただけたらと思います。

そして、これから改善しようと思う方は、薬で春を乗り越えて楽になったら忘れるというのではなく、辛い季節が終わったら来年こそはこうならない体を今から作っていく、という気持ちで弊社の製品を活用していただけたらと思います。

自然療法の考え方で、冬の病気は夏になおす、つまり夏の過ごし方で冬の体調が決まる、その逆も同じというものがあります。

何か問題が起きたらさっと受診して薬を使えばいい、という西洋医学の考え方は、表面上よくなったように見えるだけなので根本的な解決にはなりません。

花粉症という症状は、花粉によるアレルギーと言われて、杉花粉が多いなら杉を切ってしまうとか、花粉の出ない杉を作ろうという話に世の中ではなっていますが、大昔から杉その他の植物はあり、数十年前までは何も問題が起きていなかった、花粉症なんてなかった時代があるのですから、本当に植物に原因があるのでしょうか。

病院に行けば「アレルギー」と言われ薬が出るので、皆さんあまり考えずにただ鼻水を止め、目の痒みも目薬で抑えることになっていきますが、なぜアレルギーになるのかを考えて頂きたいです。そして、そのまま最後まで行けば良いのですが、上に書いたように、薬が手に入らない状況になる場合もあり、また別の何らかの体調不良が中年、老年、晩年になって現れてくる場合もあり、それを私たちは実際に見ているのです。副作用のない薬はないのです。

花粉症は、本来人間の体に入ってくる花粉のような異物や毒素を分解したり排出するべきシステムや、肝臓、腎臓が弱っているから、他の場所を使って鼻水に出したりしているという説があります。

私どもの栄養療法で花粉症が改善した方たちの多くは、「ネオパック」と、「でるサポート」など基本的な栄養をとり、その上で「ネオガードプラス」を増やすなどで結果を出してきました。

腎臓、肝臓の状態を良くするのがクエスト社のバランスのとれた栄養補強や植物乳酸菌、解毒製品なのかもしれません。

「かもしれない」というのは、因果関係がはっきり分かっていることは、実はこの世の中にはそう多くはないのです。医療の世界でも、「この薬を飲むとなぜか皮膚が白くなるから美容皮膚科方面で使おう」ということで使われている薬があると聞いたことがあります。

花粉症は、別の問題で栄養補強をしていたら、今年は出なかった、というふうに簡単にクリアする方もいますし、なかなか大変な道のりの方もいます。

鼻水がとめどもなく出たり、今までどこに隠れていたんだろうかと思うような緑色のドロドロしたものが出たり、皮膚に何らかの症状が出たりという方もいらっしゃいます。

この辺りは本当にその方一人ひとりの過ごしてきた生活状況、食べてきたものなどが違いますのでお話を良く聞かないと、その方がどういう道を通して改善していくかは見通しがつきません。

ご相談いただく時間がない方も、好転反応が出たとしても何とかやり過ごせるような環境作りや準備をするのは、どなたにとっても大事だと思います。出なければ良かったですみませんが、出てからどうしよう、と悩むのは周囲との問題を大きくする場合があります。

花粉症を解消しよう、体質改善をしようと思う方は、栄養補強サプリメントを3ヶ月程度とった上で、さらにネオクレンズを3ヶ月加え、できれば腸のクレンジングも続けて行うことをお勧めします。つまりこれだけで9ヶ月の時間が必要です。

特に長年花粉症で薬を飲んできたという方は、ご自分に一番適した栄養補強サプリメントについて私どもサプリメントアドバイザーにご相談をしていただければと思います。その際は、それまでの体調やとってきたお薬についての情報をお知らせ頂くことが必要です。

西洋医学のやり方に慣れてしまっていると、なかなか理解が難しい方もいますが、良くなる過程は一人ひとり違います。そのことも覚えておいていただけたらと思います。

皆様の健康のお手伝いができたら幸いです。

クエスト商品☆体験談募集中！！

あなたの体験談を募集しています。形式、字数は問いません。

掲載させていただいた方に、50ショッピングポイントを進呈いたします。

info@questuser.jp までお送りください♪



ユーザーグループオリジナル小冊子のダウンロード版を会員様に限り、無料進呈中！

クエスト会員様に限り無料にて、ユーザーグループオリジナル小冊子「アトピーと向き合う」、「リウマチ／膠原病と向き合う」のダウンロード版をお読みいただけます。

☆ご希望の方にはリンクをお送りしますので、ユーザーグループメール：info@questuser.jp または、電話：03-3969-9070までご連絡ください。なお、ユーザーグループのHP（<http://www.questuser.jp>）からもお申し込みいただけます。

（1冊子につき、お1人様1回限り無料でご利用いただけます。2回目以降の請求は有料となりますのでご注意ください）

①『アトピーと向き合う～脱ステ・脱プロ・自然療法～』（全64ページ／画像集あり）

ステロイド外用薬を約15年、免疫抑制剤を約3年使ってきた著者が、自然療法でアトピーを克服してきた記録。アトピーに限らず、体の不調を克服したいと思うすべての人に読んでもらいたい1冊です。

＊巻末には、24年間ステロイドを使用し内臓障害を併発しながらもアトピーを完治させたユーザーグループのアドバイザーによる、自然療法を始める前に、心理的、社会的に準備しておくべき要点を6ページにわたりまとめました。

『アトピーと向き合う～脱ステ・脱プロ・自然療法～』目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	2
01アトピー経歴・・・・・・・・・・	5
02薬を断ったきっかけ・・・・・・・・	8
03脱ステ後の治療①～通院していた頃～	9
04脱ステ後の治療②～「治してもらう」という意識を捨てる～	12
05脱ステ前に試みたこと～体の中をキレイに～	13
06好転反応という考え方に合う・・・・・・・・	15
07栄養補強に合う・・・・・・・・	17
08好転反応の嵐を乗り越える・・・・・・・・	19
09腸クレンジング～傷がない柔らかい肌～	27
10重金属の解毒①・・・・・・・・	29
11重金属の解毒②・・・・・・・・	33
12ヒールとメンドによる解毒・・・・・・・・	39
13二度目の腸クレンジング、ヒールとメンド&近況	50
14アトピーについて思うこと・・・・・・・・	52
15アレルギーマーチってご存知ですか？	54
おわりに・・・・・・・・	55
自然療法で完治を目指す前に サポートスタッフより	56
編集後記 クエスト・ユーザーグループ	62

画像集 I
p.23～

画像集 II
p.35～



②『リウマチ／膠原病と向き合う』（全100ページ）

リウマチ／膠原病からの回復を目指して、自然療法に取り組んでいる方向けのガイドブックです。

リウマチ／膠原病を解決しようとクエスト社の製品を使い始める方は大変多くいらっしゃいます。健康問題を解決するには、病気についてきちんと理解し、どのように生活を見直していったら良いのかを知ることが大切です。体に良いとされていることが、リウマチ／膠原病の方には無理がある場合もあります。また、回復過程に、さまざまな体調の変化が訪れます。回復のためには、そうした変化を好転反応として、きちんととらえ、自分の体調と向き合い「治してもらう」という考え方から離れ、自分の心とも向き合う必要があります。そのためのヒントをまとめました。ご家族の方にも読んでいただきたい一冊です。

＊巻末の体験談集IIでは、多くのリウマチ／膠原病から卒業した方の例の中から、2人の方の回復過程を詳しくご紹介した未発表の体験談も掲載しています。回復途上の皆様の参考にさせていただければ幸いです。

『リウマチ／膠原病と向き合う』目次

1 リウマチ／膠原病とは？	7
2 検査について	10
＜検査数値の見方＞	
3 リウマチ／膠原病の治療	12
4 食事を見直す	14
＜食事の注意点＞	
5 生活習慣を見直す	19
6 好転反応の乗り越え方	25
◆痛みへの対処の仕方	
7 サプリメントによる栄養補強	
～お勧めのサプリメントと飲み方～	30
8 リウマチ／膠原病を治そう	
～完治のために～	34
◆薬を止める時期の注意点	
◆リウマチ／膠原病患者の家族の方へ	
9 モチベーション維持のコツ	38
10 治る人、治らないはここが違う	41
＜治る人＞	
＜治らない人＞	
11 健康を維持する／さらなる健康を手に入れる	42
体験談集 I	44
自然療法のみで回復した方たち	
薬+自然療法で回復した方たち	
参考体験談：繊維筋痛症のような症状から解放されました	
体験談集 II	53
10年間のステロイド注射から卒業しました	
リウマチ症状、強膜炎、シェーンゲレン症候群からの回復	
薬を併用しながらリウマチを卒業しました	
私のリウマチ卒業記	

薬剤師健康コラム

薬剤師専門相談の例	11
痛みと鎮痛剤のおはなし	23
季節ごとのアドバイス	43
風邪との上手な付き合い方	96

コラム

ステロイド外用薬と痛み	11
断食療法について	16
現代型栄養失調について	17
腸内環境と免疫力	18
自分の治癒力を信じる	26
腹式呼吸法と丹田式呼吸法について	28
家事との関係	34
生活の工夫	35
妊娠と出産	36
子育てと治療	36
関節の変形	37

Q&A

冷え取りはいつまで行えばよいのでしょうか？私は冷えてないと思うのですが
好転反応と悪化の区別がつきません
早く治したいのですが、サプリメントや水はたくさん飲んだ方が効果的ですか？
免疫力を上げるサプリメントはリウマチを悪化させ、クスリの効果を減らしませんか？
治った後もサプリメントを飲まなければいけませんか？
どうしても早く症状を取り去りたい
関節の変形が怖くて不安が大きい
薬は絶対止めた方がよいですか？

<クエスト・ユーザーグループからのお知らせ>

☆ユーザーグループでは、お勧めのサプリメントやサプリメントの効果的な飲み方、好転反応の乗り越え方、ご予算に応じたサプリメントのご提案・・・など、電話、またはメールにて相談を承っております。
また、様々な健康問題を抱えている方のために、電話での専門相談（予約制／無料）もお受けしています。
安心してクエスト製品をお使いいただくためにも、お気軽にご利用下さい。

～無料相談のご案内（予約制）～

<予約方法>ご希望日の2日前までにメールか電話にてご予約ください。また初めて予約する方は、事前に健康チェックの提出をお願いしています。

健康チェック用紙はこちらからダウンロードできます↓

<http://questuser.jp/healthcheck.pdf>

☆薬剤師相談☆（10時、11時、12時）

薬の成分やサプリメントとの飲み合わせ、検査数値等相談ができます

1月：23日、24日、30日、31日

2月：6日、7日、14日、20日、21日、27日、28日

☆リウマチ卒業生による相談☆（13時、14時、15時）

脱薬時の不安など経験者だからわかることをお話し頂けます

1月：30日

2月：7日、16日、27日

★留守番電話対応について★

ユーザーグループの電話相談時間は、現在のところ平日10時～16時のため、仕事などでご相談できないという方やメールを書く時間がないという方のために、受付時間外は留守番電話でご用件を承っています。

代表電話番号03-3969-9070に電話を頂きますと英語のメッセージが流れますので、その後、お名前（フルネーム）、ご相談内容をはっきりとお伝えください。そして最後に、こちらからお返事するのにご都合の良い方法〔電話（固定電話のみ）、メールなど〕をお知らせください。

◎クエスト・ユーザーグループ

Webサイト <http://www.questuser.jp>

ユーザーグループブログ <https://questuser.hatenablog.com>